

2018年5月24日

日本相撲協会より 半世紀以上にわたるファン投票による懸賞「森永賞」の功績に対し 『感謝状』が授与されました

森永製菓株式会社（本社：東京都港区芝、代表取締役社長：新井 徹）は、このたび、永年にわたるファン投票による懸賞「森永賞」の功績に対し、5月24日（木）日本相撲協会から感謝状を授与されました。

感謝状授与式は、両国国技館理事長室にて行われ、森永製菓会長・森永剛太が出席し、八角理事長より永年にわたるファン投票による「森永賞」功績への感謝として、授与されました。

森永賞は、昭和26（1951）年、一月場所からスタートし、今年で67年目となります。懸賞掲出企業の中でも最も古い企業です。昭和29（1954）年春場所よりファンの投票によって懸賞取組が決定する現在のスタイルになりました。

また、1950～60年代には大相撲が民放で中継され、森永製菓が日本テレビの単独スポンサーを務めました。その他、横綱双葉山関が、昭和13（1938）年「森永ミルクキャラメル」のポスターに登場、さらには、第36代横綱羽黒山関から多くの歴代横綱へ化粧廻しをお贈りするなど、森永製菓と大相撲には数多くの関わりをもっております。

なお、森永製菓株式会社3代社長 森永 太平（森永剛太の実父）は、日本相撲協会の諮問機関である運営審議会委員を務めました（1957年9月から亡くなる1983年3月までの26年間、協会の発展に尽力しました）。

■感謝状授与にあたって

長きにわたる大相撲の歴史の中で、懸賞金供出企業初の感謝状をいただき大変名誉に感じています。3代目社長森永太平がはじめた「森永賞」は今年で67年になりますが、大人も子どもも楽しめる大相撲を「森永ミルクキャラメル」とともに応援したいと続けてまいりました。今後も大相撲のますますの発展に貢献したいと思います。（森永製菓株式会社 代表取締役会長 森永剛太）

■森永剛太・略歴

生年月日：昭和14（1939）年9月13日 満78歳

6代社長（1997年～2006年）現在は代表取締役会長。2014年、春の叙勲で旭日中綬章を受章。